

令和 8 年第 5 回 鋸南町議会定例会議事日程〔総括表〕

令和 8 年 9 月定例会

日程第 1	会議録署名議員の指名	
日程第 2	会期の決定	
日程第 3	諸般の報告	
日程第 4	一般質問〔5 名〕	
	① 6 番 笹生あすか 議員	
	② 3 番 中村 基 議員	
	③ 8 番 竹田和明 議員	
	④ 2 番 篠宮真樹 議員	
	⑤ 11 番 緒方 猛 議員	
日程第 5	議案第 1 号	専決処分の承認を求めることについて（令和 8 年度鋸南町一般会計補正予算（第 2 号）について）
日程第 6	議案第 2 号	監査委員に関する条例の一部を改正する条例の制定について
日程第 7	議案第 3 号	鋸南町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
日程第 8	議案第 4 号	鋸南町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
日程第 9	議案第 5 号	鋸南町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
日程第 10	議案第 6 号	鋸南町火入れに関する条例の一部を改正する条例の制定について
日程第 11	議案第 7 号	令和 8 年度鋸南町一般会計補正予算（第 3 号）について
日程第 12	議案第 8 号	令和 8 年度鋸南町国民健康保険特別会計補正予算（第 1 号）について
日程第 13	議案第 9 号	令和 8 年度鋸南町後期高齢者医療特別会計補正予算（第 1 号）について
日程第 14	議案第 10 号	令和 8 年度鋸南町介護保険特別会計補正予算（第 2 号）について

日程第 1 5	議案第 1 1 号	令和 7 年度決算認定について 1. 令和 7 年度鋸南町一般会計歳入歳出決算 2. 令和 7 年度鋸南町国民健康保険特別会計歳入歳出決算 3. 令和 7 年度鋸南町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算 4. 令和 7 年度鋸南町介護保険特別会計歳入歳出決算
日程第 1 6	議案第 1 2 号	令和 7 年度決算認定について 1. 令和 7 年度鋸南町鋸南病院事業会計決算
日程第 1 7	報告第 1 号	令和 7 年度地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく健全化判断比率及び資金不足比率について（一般会計、病院事業会計）
日程第 1 8	請願第 1 号	武器輸出の制限緩和・拡大方針に反対し、平和外交の推進と慎重な議論を求める意見書の提出を求める請願書について（委員長報告）

令和 8 年 第 5 回 鋸南町 議会 定例会 会期 日程表 (案)

自 9 月 1 日 (火) 至 9 月 1 1 日 (金)

会 期	月 日	曜 日	時 間	説 明
第 1 日	9 月 1 日	火	午前 10 時	開 会 会議録署名議員の指名、会期の決定、諸般の報告、 一般質問 4 名 散 会
第 2 日	9 月 2 日	水	午前 10 時	開 議 一般質問 1 名 議案第 1 号から議案第 6 号の上程、説明、質疑、 討論、採決 議案第 7 号から議案第 1 2 号の上程、説明 報告第 1 号の説明 請願第 1 号の委員長報告、質疑、討論、採決 散 会
第 3 日	9 月 3 日	木		休会 (議案調査のため)
第 4 日	9 月 4 日	金		休会 (議案調査のため)
第 5 日	9 月 5 日	土		休会
第 6 日	9 月 6 日	日		休会
第 7 日	9 月 7 日	月		休会 (議案調査のため)
第 8 日	9 月 8 日	火		休会 (議案調査のため)
第 9 日	9 月 9 日	水		休会 (議案調査のため)
第 1 0 日	9 月 1 0 日	木		休会 (議案調査のため)
第 1 1 日	9 月 1 1 日	金	午後 2 時	開 議 議案第 7 号から議案第 1 2 号の質疑、討論、採決 閉 会

一 般 質 問 一 覧 表

令和 8 年第 5 回鋸南町議会定例会

通告順	質 問 要 旨	質 問 者	答 弁 者
1	1. 子育て支援施策の拡充について 少子化や核家族化、共働き世帯の増加など、子育て世帯を取り巻く環境が変化する中、町では国に先立って給食費の無償化、子ども医療費の窓口負担ゼロなど様々な子育て支援を行っています。物価高騰で家計に大きな影響が出ています。 不定期で開催されている子ども服交換会は、とても好評ですが、衣類以外の子ども用品や学用品のリユースへのニーズも高まっています。 そこで4点質問します。 ① 子育て相談窓口の利用状況や、主な悩みの傾向、および物価高騰が子育て世帯の家計に与えている影響について、町はどう認識しているか。 ② 子ども用品や学用品の交換会事業を町主導で行う必要があると考えるがどうか。 ③ 鋸南中学校だけでなく、鋸南小学校や公民館など公共施設にもトイレへの生理用品設置が必要だと考えるがどうか。 ④ LINEやメールなどを活用したオンライン相談や、保育所などへの出張相談など、新たな相談体制の整備が必要だと考えるがどうか。 2. 学校等体育館への空調設備設置について 近年の異常気象により、暑さ対策は急務です。国が令和6年度から10年間の時限措置として新設した「空調設備整備臨時特例交付金」の活用により、鋸南町での検討・導入は必要だと考えます。 そこで、2点質問します。 ① 災害時の指定避難所でもある鋸南小中学	笹生あすか	町 長

	校や、B & G海洋センターの体育館における暑さ、寒さ対策、熱中症リスクについての現状認識はどうか。 ② 空調設備整備臨時特例交付金の活用可能性と、それによる財政的メリットの試算、また導入に向けた財政的な見通しについてどう考えるか。 3. 投票権を保障する取組について 投票に行きたいが、交通手段がなく行けないという声が増えています。来年は、統一地方選挙も予定されています。 そこで3点質問します。 ① 町民の「投票する権利」をどのように認識しているか。 ② 高齢化・免許返納に伴う移動困難な有権者の実態把握について、町はどう認識しているか。 ③ 移動式投票所の導入が必要と考えるが、どうか。		町 長
2	人口減少と過疎高齢化に直面する当町の将来を考えると、各地区の町道補修や河川氾濫への対応といった「目の前の生活や安全を守る」政策と、山積する難題を解決していく人と組織を育てる「未来への人材投資」の政策、この両輪を回すことが必要だ。 そして、その実現には、来年度予算の確保と、県・町・住民三者の連携や進捗の見える化の仕組み作りが不可欠だ。 その観点からお伺いする。 1. 町道補修費用の予算拡充と進捗状況の見える化について 町道は重要な生活インフラであるが、損傷個所が多発している。 一方、補修実績は地区からの申請に対して滞り	中 村 基	町 長

	そこで昨年１２月の一般質問で、先ず行政職員の戦力を高める手順として（１）個人別の業務量の負荷調整（属人化・ブラックボックス化の解消）、（２）課内コミュニケーションの改善（ワークショップ等）、（３）業務改善による生産性向上、（４）人材育成方針の作成と運用の、４段階を順次実施することを提案したが、その後の対応について伺う。 ① 先般取りまとめられた「人材育成方針書」は、どのような内容で、今後どのように運用していくのか。 ② 業務の改善や属人化の解消、職場内のコミュニケーション改善はどこまで進んでいるか。 ③ 未来への投資として、個々の課題の解決に向け、現場の意識変革を導く専門コンサルタントの伴走支援を、来年度予算化して進める考えがあるか。 その際、職員のみならず協働の担い手となる町民も共に育てる「官民プロジェクト実践型」の人材育成方法を取入れるつもりはないか。		
3	1. 持続可能な鋸南町の未来を創る政策提言～新たな成長機会の活用について 本町は、極めて厳しく深刻な人口減少の現実には直面しています。現在の町の人口は約6,500人。年間の社会移動は転入・転出ともに約20名でほぼ拮抗していますが、自然移動に目を向けると、年間のお生まれが約20名に対し、亡くなられる方が約170名と、毎年約150名規模での人口減少が続いています。このまま推移すれば、町の活力やコミュニティの維持すら危ぶまれる事態です。 人口減少は全国共通の課題ですが、だからこそ「鋸南町としていかに人口を維持・定住につ	竹 田 和 明	町 長

	なげるか」、そして「交流人口や関係人口の拡大によって町の経済・財政をいかに補完していくか」という独自の戦略と明確な意図が問われています。 また、現状の本町財政は過半を地方交付税に依存しており、当面は財政規模を維持できているものの、将来的な人口減少に伴う交付税の減少リスクを見据え、自立的・持続可能な町運営への転換を図らなければなりません。 都心まで約1時間半という抜群のアクセス性能を持ちながら、雇用条件や就業機会の限定が転入のハードルとなっている現状、さらに高齢化率50%を超える地域特性を踏まえ、本町の強みである豊かな自然環境や食、歴史・文化、コミュニティの魅力を最大限に活かした政策転換が必要です。 さらに、今後のフィジカルAIや自動運転・ロボティクスの普及は、地方での暮らしの利便性を飛躍的に向上させる可能性を秘めています。また、2030年の成田空港拡張や圏央道の全線開通は、安房地域全体にとっても大きな経済的チャンスです。 これらの現状と未来の展望を踏まえ、町の人口維持および活性化に向け、以下の点について町長ならびに町執行部のご見解をお伺いします。 ① 人口維持・経済財政基盤に関する基本認識について (i) 交流人口・関係人口の経済効果について 交流人口・関係人口の拡大が、実質的に本町の経済および財政面において人口減少を補う効果をどのように評価し、推進されているかお伺いします。 (ii) 人口維持の意義と独自の目標設定について 全国的な人口減少の中で、本町が人口維		
--	---	--	--

	持・定住促進に挑む意義と、今後の目指すべき将来人口像について町長のご見解をお伺いします。 (iii) 地方交付税依存からの脱却と将来財政の見通しについて 現状の地方交付税依存構造に対するリスク認識と、将来的な人口減少を見据えた中長期的な財政構造改革のお考えをお伺いします。 ② 高齢化率50%を踏まえた安心の居住環境整備（安心の看取り支援）について (i) 在宅医療・訪問診療・看取り支援の充実 高齢者の多くが慣れ親しんだ自宅や施設での最後（看取り）を希望されながらも、現実には約80%が病院で亡くなっている現状があります。訪問診療、訪問看護、看取り支援を町として一元的に充実・強化することが、中高齢層の安心な生活基盤となり、結果として移住・転入者の増加につながると考えますが、町の見解と今後の取り組みをお伺いします。 ③ 2030年成田空港拡張・圏央道全線開通を見据えた農林水産業の再生と戦略について (i) 安房地域特区構想と農水産物の輸出促進 国の農林水産物輸出目標（2030年5兆円）に対し、圏央道の全線開通や成田空港の拡張は、本町の朝どれ農産物や新鮮な魚介類を世界へ届ける千載一遇のチャンスです。安房地域全体での特区指定推進も含め、インバウンド需要の取り込みと、一次産業（農業・漁業）の再生・輸出拡大に向けた本町の具体的な戦略をお伺いします。 ④ 将来のデジタル技術（AI・自動運転・ロボティクス）の普及を見据えた政策、計画の準備について	
--	--	--

	(i) デジタル技術の普及を見据えた計画・準備について 今後急速に普及が見込まれる自動運転や生活支援ロボット等の最新技術をいち早く町内に導入・実証実験推進することで、過疎地の移動・物流課題を解決し、居住利便性を大きく高めるお考えがあるかお伺いします。		
4	1. 保田駅前商店街について 現在、保田駅前商店街は昼間でもシャッターが閉まっている所が多く、夜の8時を過ぎると真っ暗になってしまいます。 かつては、夏の海水浴シーズンには夜中まで人の歩く音が聴こえ、大変な賑わいだったそうです。 しかし、現在の商店街の状況は人通りもまばらで、とても賑やかだとは言えません。 商店街の衰退は観光の多様化や交通手段の変化、人口減少、後継者問題など様々な要因が考えられると思います。 町は商店街の現状をどう捉え、シャッター通りになってしまった原因は何か、また、どう分析しているのか。 これから商店街を活性化していく考えはあるか。 2. 鋸山の観光について 昨年から全国でクマによる人への被害が相次ぐ中、千葉県にはクマが生息していないということで、安心して登山やハイキングなど楽しめると注目されていると思います。 そのため、去年は鋸山にも多くの登山客が訪れたと聞いています。 しかし、お隣の金谷は休日になると多くの人が訪れているのを実感しますが、鋸南町側にはそこまで沢山の人が訪れているとは感じません。	篠宮 真樹	町 長

	鋸南町には、日本寺もあり、鋸山の玄関、入口は鋸南町側ですが、どうもその辺りのアピールが足りないのではないかと考えます。 そこで、これから鋸山をどう観光資源として活用していくのか、また、鋸南町側に新たなハイキングコースや登山道などの整備をするなどの考えはあるか。		
5	1. 高速バス下り、道の駅「保田小」での乗車について 亀田病院から道の駅「保田小」経由、東京駅までの高速バスが、5月より運行するようになった。 鋸南町については道の駅「保田小」から本数は少ないが利用できるようになり、応分のありがたさはある。 ただし、下りについては一切利用出来ない。鋸南町から亀田病院に行く人はそれなりに居り、道の駅「保田小」で乗車、亀田病院で下車だけでも実現して頂きたい。 現在町民の署名活動も行われ、行政が日東交通に提出したと聞く。 私も7月1日、日東交通木更津営業所に検討を依頼、部長さんが何せ時間ロスをしたくない、鋸南の行政に相談に行くとの事であった。 現状は社協の送迎ボランティアが一定の条件を満たす人を送迎している。 タクシーで行くと大きな費用が掛かる。 十分なダイヤがあるとは思えないが、利用することにしておくことにはそれなりの大きな意義があると思う。 そこで質問する。 ① 行政のこの問題の対応は早やくは無いと思う。スタート段階を含めどのように考えていたのか。 ② 町民の署名活動の実績を日東交通に届け	緒 方 猛	町 長

	進捗をどのように考えているか。		
--	-----------------	--	--